

参考様式A5(自己評価等関係)

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスKiddy四日市南			
○保護者評価実施期間	2025年11月1日 ~ 2025年11月30日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	4
○従業者評価実施期間	2025年10月1日 ~ 2025年11月1日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数)	10
○事業者向け自己評価表作成日	2025年11月6日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者様からの相談や困りごとに関する相談受付や、内容に対して寄り添うことができている。	子どもの勉強についての心配事や家庭内での出来事などについての質問があったときに、管理者を筆頭に真摯に対応し、ケアを心がけている。 公式ラインにても相談を受け、スタッフ同士でどのように返事をさせていただいたら良いかを話し合い対応している。	今まで以上に、送迎時などに小さなことでも良いためコミュニケーションをとる意識をスタッフ一人一人が持ち、保護者様との信頼関係を築いていく。
2	就学時前から利用をしている子どもたちもいるため、自由遊びの時間に少しずつ勉強をする時間を設けている。	小学校へ行っているお友だちの近くに座り、自分の名前の運筆をしたり、少し簡単な計算問題をしたりしてもらっている。	ひらがなを少しずつ理解していくことができたときに、ひらがなカルタに挑戦してみたり、数字が分かってきたらナンバーパーツを少ない数字でみたりと、少しずつステップアップしていくように促していく。
3	保護者同士、子どもたち同士、スタッフとのかかわりを持ち、楽しく交流する場を設けることができた。	今年度は、夏休み期間に「夏祭り」を開催し、食事を一緒にしたり、輪投げやお面づくりなどを保護者の方にも見守っていたりながらしたりと、施設内で保護者と子どもが共に過ごすごとのできる機会を設けたこと 保護者同士で話をしたり、スタッフと話をしたりすることができた。	来年度からもたくさんの保護者と子どもたちが参加できるイベントを考えていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	他施設(放デイ・児発・学童など)との交流などを促す機会がない。	事業所同士の横のつながりや学童と交流する機会を作りたいと考えているが、機会やそもそも運び方が分からず、参考にできる事業所の情報を集めること実行することができていない。	スタッフのお子さんや同じ系列の施設との関わりを増やしていき、そのあとから他施設との交流を促してみる。
2	ペアレントトレーニングを提供できる機会やスタッフによってはそもそもそのスキルが育っていない。	ペアレントトレーニングを必要とする保護者様への対応やケアが行き届いていない。	ペアレントトレーニングの実現を目標とし、それに関するセミナーや研修を取り入れていくようにする。
3	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定することはできているが、保護者様へ周知することができていない。	保護者様への説明が不十分であるため、認知することができない。	契約するとき、モニタリングに来いただいたときなどに事業所で取り組んでいることを伝えて、安心していただく。